



特別栽培米

環境こだわり農産物

2020年 栽培日記

JA滋賀蒲生町



Vol.3 ハウス めくり編

(撮影日：2020年4月27日) 育苗センター内の出芽室に保管された苗箱から順調に出芽し、次は生育するために苗箱を育苗用ビニールハウスへと運びます。
運んだ苗箱は職員が手作業でハウス内に並べ、田植えができる状態になるまで大切に育てられます。

ハウスめくり (苗箱ならべ) は、苗箱を1日に何千枚も手作業で並べるため、たくさんの人手が必要となります。毎年JA全職員が当番制で出役していましたが、今年は感染症予防対策として職員同士の接触を抑えるため、営農販売課のみで対応することがほとんどで大忙しでした。
苗箱は育苗センターからハウスまでトラックで運び、運ばれた苗箱はハウス内に奥から詰めて並べます。ハウス内は蒸し暑く大変ですが、熱中症に気を付けながら頑張ります。
苗箱を並べ終わったら、ハウス内のスプリンクラーでしっかり水やりをします。水やり後、苗箱の上に白いシート (**健苗シート**) を敷きます。これも手作業で行います。

健苗シートは、太陽光を遮断することにより苗焼けを防ぎ、保温効果によって苗の成長を助ける効果があります。
数日後、健苗シートをめくると緑化苗に成長し、引き続きハウス内で育てます。



トラックで運ばれてきた苗箱



トラックから苗箱を運ぶ職員



ハウス内に並べられた苗箱



数日後、成長した緑化苗



全面に敷かれた健苗シート

苗箱に健苗シートを敷きます